

土砂防 だより



雨上がる（富士宮市黒田）

静岡県支部通常総会	2
(一社)全国治水砂防協会通常総会	3
土砂災害防止月間の取り組み	4
● 急傾斜地パトロールの実施	
● 「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2018～」の開催	
「土砂災害・全国防災訓練」を実施	6
平成29年度砂防関係事業の代表的な完成箇所	7
わがまち(西伊豆町・函南町)	9
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12

特集

第73回全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会

土砂災害防止月間の取り組み 「土砂災害・全国防災訓練」を実施



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催



原田支部長の挨拶

5月30日(水)、全国治水砂防協会静岡県支部の平成30年度(第73回)通常総会を静岡市内で開催しました。

開会にあたり、支部長の原田袋井市長が、約7割が山地である本県には18,581箇所と多くの土砂災害危険箇所があることに触れ、頻発する土砂災害から県民の生命・財産を守る土砂災害対策では、施設整備の推進とともに、ハザードマップの作成や防災訓練等のソフト対策が重要であり、砂防協会による啓発活動、会員相互の連携及び国や県との協調を訴えました。

続いて、難波副知事、山崎県議会建設委員長、国土交通省砂防部の石塚砂防施設評価分析官、全国治水砂防協会の岡本理事長より御祝辞をいただきました。この後、議案の審議が行われ、平成29年度の事業報告と収支決算報告、本県の砂防関係事業の普及発展を図る平成30年度の事業計画と収支予算が原案どおり承認されました。

滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。

続いて、難波副知事、山崎県議会建設委員長、



難波副知事の挨拶



山崎県議会建設委員長の挨拶



石塚砂防施設評価分析官の挨拶



岡本理事長の挨拶

土砂災害防止講習会を開催

静岡県支部通常総会に併せ、土砂災害防止講習会を開催し、各市町長をはじめ、県内の直轄砂防事務所長及び各土木事務所長等、多くの方に参加いただきました。

石塚砂防施設評価分析官には「土砂災害を防ぎ 命とくらしを守る」と題し、九州北部豪雨をはじめとする昨年の全国の土砂災害の発生状況とその対応、砂防堰堤等の施設の効果事例、ハザードマップの公表状況等のソフト対策などについて講演していただきました。

また、岡本理事長には、「近年の災害からの教訓」と題し、東日本大震災や広島災害など近年全国で頻発する災害に対する市町長や行政担当者の対応とその検証、住民の避難行動などについて講演をしていただきました。



石塚砂防施設評価分析官の講演



岡本理事長の講演

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月24日(木)、(一社)全国治水砂防協会の平成30年度(第82回)通常総会が、会員多数の出席のもと、砂防会館で開催されました。

当日は、当支部から支部長の原田袋井市長をはじめ12名の会員に御出席いただき、多くの国会議員が来賓として御出席されました。

綿貫会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、平成29年度の事業報告と収支決算報告、全国の砂防関係事業の拡充・促進を図る平成30年度の事業計画と収支予算が原案どおり承認されました。

また、総会開会に先立ち、語り部(かたりすと)としてご活躍中の平野啓子氏(静岡県沼津市出身、大阪芸術大学放送学科教授、元NHKキャスター)による「熊本地震 復興への祈り 阿蘇・熊本城」と題した特別講演が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



綿貫会長の挨拶



平野氏の講演



総会の様子

本県の参加市町

袋井市、富士宮市、伊豆市、東伊豆町、森町、河津町、函南町、伊東市、島田市、裾野市、伊豆の国市、長泉町(計12市町) ※太字は本人参加

平成30年度「土砂災害防止月間」

6月1日(金)～30日(土)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線や台風により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2018～」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施 など

表[平成29年に発生した土砂災害件数]

H29年土砂災害発生	土石流	地すべり	がけ崩れ	計	死者・行方不明者
全国土砂災害発生件数	313	173	1,028	1,514	24
静岡県土砂災害発生件数	5	0	43	48	0



立看板の設置(静岡県庁本館正面玄関)

～関係機関や地域住民、砂防ボランティアとの協働～

1 急傾斜地パトロールの実施

急傾斜地崩壊危険区域において、市町や警察、消防等の関係機関、地域住民や砂防ボランティアと連携し、土砂災害防止施設の異状の有無や法面の崩壊、排水路の機能状況等を点検する急傾斜地パトロールを実施しました。

施設の破損や小規模な崩壊などの、異状が確認された箇所については、施設の修繕や応急的な対策を実施していきます。



急傾斜地パトロールの状況

2 市町における広報活動の取組み

市町や土木事務所において、土砂災害防止の広報活動として、広報誌やホームページ等への掲載、庁舎の横断幕や懸垂幕等の掲示、土砂災害防止講習会の開催、ラジオ放送やポスターの掲示などに取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示(下田市)



平成30年度 土砂災害防止月間ポスター

の取り組み

広報誌への掲載	静岡市、沼津市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、焼津市、掛川市、下田市、裾野市、湖西市、御前崎市、菊川市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、川根本町、砂防課（22市町）
ホームページにおける広報	三島市、南伊豆町、砂防課（2市町）
横断幕、懸垂幕、立看板の掲示	静岡市、浜松市、富士宮市、伊東市、磐田市、掛川市、下田市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、川根本町、森町、熱海土木事務所、沼津土木事務所、静岡土木事務所、袋井土木事務所、砂防課（18市町）
土砂災害防止講習会の開催	静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、森町（29市町）
ラジオ、テレビ放送	ラジオ放送：島田市、富士市、下田市、裾野市、砂防課
ポスター掲示	県内市町関係機関、県土木事務所、砂防課、県内セブンイレブン720店舗

3 みんなで防ごう土砂災害 ～砂防フェスティバル2018～

6月16日(土)、土砂災害の発生状況や砂防関係事業のハード・ソフト対策の取り組みに関する情報を発信し、県民の皆様へ土砂災害防止に対する理解と関心を深めていただくよう、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2018～」を開催しました。

このイベントは、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡地方気象台、静岡県、静岡市の共催により開催しているもので、土砂災害防止に関するパネルや模型の展示、県のホームページで公開している地理情報システム(静岡県GIS)による危険箇所や避難地を確認する操作体験などの啓発活動を行いました。



土砂災害に関するクイズに挑戦



地理情報システム(静岡県GIS)による危険箇所等の確認

会場の様子



会場にはふじっぴーも登場



ふじっぴーの塗り絵も実施

「土砂災害・全国防災訓練」を実施

～普段の備えが、命を守る～

6月3日(日)、県下一斉に「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

これは、6月の「土砂災害防止月間」の取組の1つとして、全国統一実施日を中心に、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的に、土砂災害警戒区域等における住民参加による実践的な避難訓練を実施するものです。

統一日には、27市町で地域住民や行政関係者など約2,500人が参加し、避難勧告に伴う住民や要配慮者等の避難訓練の他、情報伝達訓練、ハザードマップの作成、土砂災害に関する講習会などを実施しました。

また、統一日以外には、7市町で避難訓練を実施しています。



函南町(要配慮者の避難支援)

訓練参加市町

◆6月3日(統一日)実施 (27市町)

浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、藤枝市、袋井市、下田市、裾野市、伊豆市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、南伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、小山町、川根本町、森町

◆統一日以外の実施 (7市町)

静岡市、掛川市、湖西市、御前崎市、伊東市、清水町、吉田町

(県内34市町)

訓練の状況



住民避難の様子
(6月3日:小山町)



要配慮者利用施設での訓練
(6月3日:熱海市)



避難状況確認の様子
(6月3日:三島市)



手作りハザードマップ作成
(6月3日:富士市)



砂防課職員による講習会
(6月3日:袋井市)



一時避難場所への集合
(6月3日:裾野市)



幼稚園での避難訓練
(6月7日:清水町)



避難経路を現地で確認
(6月3日:長泉町)



対策本部の設置
(6月3日:焼津市)



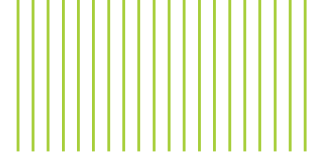
災害対策車両の展示・見学
(6月3日:松崎町)



消防職員による緊急搬送講習会
(6月3日:藤枝市)



情報伝達(市側)の様子
(6月3日:牧之原市)



平成29年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

●丹谷沢砂防堰堤工 (浜松市天竜区渡ヶ島地先)



丹谷沢では、砂防堰堤1基を整備し、下流域の人家14戸及び県道の保全を図りました。

●真砂川砂防堰堤工 (掛川市倉真地先)



真砂川では、砂防堰堤1基を整備し、下流域の人家8戸及び県道の保全を図りました。

●長尾南沢砂防堰堤工 (静岡市葵区長尾地先)



長尾南沢では、砂防堰堤1基を整備し、下流域の特別養護老人ホーム、人家3戸及び県道の保全を図りました。

●東車沢溪流保全工 (袋井市山崎地先)



東車沢では、溪流保全工(L=180m)を整備し、溪床の浸食を防止しました。

●砂防事業

※平成29年度に工事を実施し、完成した箇所

箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
丹谷沢	浜松土木	浜松市天竜区渡ヶ島	201	H24	砂防堰堤工 H=10.0m、L=36.0m
真砂川	袋井土木	掛川市倉真	165	H24	砂防堰堤工 H=8.5m、L=52.0m
長尾南沢	静岡土木	静岡市葵区長尾	191	H24	砂防堰堤工 H=10.5m、L=76.0m
東車沢	袋井土木	袋井市山崎	15	H28	溪流保全工 L=40.0m
柚野布沢川	富士土木	富士宮市上柚野	70	H24	溪流保全工 L=180.0m

急傾斜地崩壊対策事業・地すべり対策事業

●吉佐美多々戸擁壁工 (下田市吉佐美 地内)



急傾斜地崩壊対策工事として待受け擁壁工を実施し、人家14戸の保全を図りました。

●東本郷町大洞擁壁工 (沼津市上香貫 地内)



急傾斜地崩壊対策工事として擁壁工を実施し、人家25戸と要配慮者施設1棟の保全を図りました。

●美人ヶ谷擁壁工 (掛川市上西郷 地内)



急傾斜地崩壊対策工事として待受け擁壁工を実施し、人家5戸の保全を図りました。

●岡部二反田地すべりアンカー工 (藤枝市岡部町岡部 地内)



地すべり対策工事としてアンカー工等を実施し、人家177戸、準用河川の保全を図りました。

●急傾斜地崩壊対策事業

※平成29年度に工事を実施し、完成した箇所

箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
吉佐美多々戸	下田土木	下田市吉佐美	347	H22	擁壁工 L=319m
櫻田坊ヶ谷	下田土木	賀茂郡松崎町櫻田	113	H26	擁壁工 L=157m
東本郷町大洞	沼津土木	沼津市上香貫	215	H25	擁壁工 L=299m
志味堂	袋井土木	菊川市下平川	99	H25	擁壁工 L=212m
宇刈時ヶ谷	袋井土木	袋井市宇刈	113	H25	擁壁工 L=160m
両島棚久保	浜松土木	浜松市天竜区両島	284	H21	擁壁工 L=341m
上船原猪場	沼津土木	伊豆市上船原	157	H20	擁壁工 L=88m
中西(2)	島田土木	牧之原市中西	80	H27	擁壁工 L=96m
美人ヶ谷	袋井土木	掛川市上西郷	98	H26	擁壁工 L=200m
渡ヶ島奥ノ谷A	浜松土木	浜松市天竜区渡ヶ島	116	H25	擁壁工 L=174m

●地すべり対策事業

※平成29年度に工事を実施し、完成した箇所

箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
岡部二反田	島田土木	藤枝市岡部町岡部	126	H24	アンカー工 N=30本ほか

西伊豆町

産業建設課

西伊豆町は、静岡県東部の伊豆半島の西海岸の中央に位置し、西側は駿河湾に、東側は急峻な山並みの天城山系が連なり、北と南にその支脈が海岸まで迫っています。

北は伊豆市、南は松崎町、東は河津町に接し、東西約12.5km、南北約12kmで面積は105.54km²となっており、美しい夕陽を鑑賞することができる海岸線は富士箱根伊豆国立公園及び名勝伊豆西南海岸に指定されています。

西伊豆町では平成17年に「夕陽日本一宣言」を行い、日本の夕陽百選に指定されている大田子海岸をはじめ、堂ヶ島・黄金崎などの数多くの夕陽スポットを有し、空と海、奇岩群や漁船が夕景と交わる光景は格別の美しさを魅せます。

また、黒潮の影響により良質な魚たちが集まることから、古くから漁師町としても栄え、今もなお昔ながらの製法で作られるかつお節や、日本で西伊豆町でしか作られていない保存食の塩鱈など、素材本来のうまみを生かした伝統的な加工食品にも人気があり、塩鱈は後世に残したい食材として、2014年7月にスローフード協会から「味の箱舟(Ark)」として世界認定されました。

その他にも、地元で水揚げされたスルメイカの刺身を使ったB級グルメ「いか様丼」は、昨年11月に都内で開かれた「Fish-1グランプリ」の「プライドフィッシュ部門」でグランプリに輝き、販売している漁協直売所では連日多くのお客さんで賑わっております。

皆様もここでしか味わえない自慢の一品と美しい自然と夕陽が織り成す絶景を味わいに是非一度、西伊豆町へお越しください。



大田子海岸からの夕陽



新鮮なスルメイカ

函南町

建設課

函南町は、静岡県伊豆半島の玄関口、箱根の南に位置し、都心へ約1時間と便利な地理的条件と、富士山の眺めをはじめ、風光明媚、気候温暖で、豊かな自然環境に恵まれた町です。

地域資源も豊かで、国指定重要文化財である「阿弥陀三尊像」などを展示する「かなみ仏の里美術館」、国指定史跡で古墳時代の横穴墓である「柏谷横穴群」、国指定天然記念物の北伊豆地震の時に活動した「丹那断層帯」、国の選定による水源の森百選に選ばれた「函南原生林」、360度ワイドな展望の絶景ポイント「十国峠」など、歴史と文化のある癒しの地です。

特産物は、130年の歴史を誇る「丹那牛乳」や、しずおか食セレクションの「丸平函南西瓜」、トマトやイチゴなどの農産物です。

是非ご賞味ください。

平成29年5月にオープンした道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」は、伊豆半島全体の情報の発信拠点として、また、農業・観光・産業・交流の活性化を促す場として、多くのお客様にご利用いただいております。狩野川の雄大な流れと世界文化遺産の富士山が一望でき、今年12月13日には隣接地に「めんたいパーク」がオープン予定で、来年3月には「川の駅」も供用開始予定です。伊豆の玄関口に相応しい、賑わいと交流の場となることでしょう。



道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」



かなみ仏の里美術館に展示されている「阿弥陀三尊像」

2020年東京オリンピック、パラリンピックの自転車競技が伊豆市で開催されますが、新東名、伊豆縦貫自動車道の整備により観戦も容易になりました。

是非函南町にお越しいただき心も身体も癒されてください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

警戒避難体制の説明会を開催

5月16日(水)から5月31日(木)にかけて、県の土木事務所と危機管理局、市町の担当職員を対象に、土砂災害に対する警戒避難体制の説明会を各土木事務所で開催しました。

この説明会は、土砂災害防止法に基づく警戒区域の指定と市町による警戒避難体制の整備を推進するために、毎年、雨期前に行っています。砂防課から土砂災害防止法の区域指定と警戒避難に関する留意点、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定等について説明しました。また、土木防災課から水位周知河川について、静岡地方気象台から土砂災害警戒情報の概要について説明がありました。



警戒避難体制の説明会(袋井土木事務所)

「どぼくのヒーロー、エンテイクン」のヒーローショーを開催

5月11日(月)に「どぼくのヒーロー、エンテイクンといっしょに土砂災害から町を守れ!」と題したヒーローショーを清水和田島こども園(静岡市清水区)で開催しました。

「ドセキリュウ」から「エンテイクン」が町を守るシナリオは、県静岡土木事務所と建設会社が手づくりで企画したもので、園児らは土砂災害のおそろしさに驚きながら、「エンテイクン」の活躍に目を輝かせていました。

ヒーローショーの後には、こども園の裏山で建設中の「榎木沢砂防堰堤」の工事現場を見学し、園児らによる鉄入れ式を行いました。



エンテイクンと記念写真



工事現場で鉄入れ式

「第11回親子で大谷崩の森づくり」が開催される

5月27日(日)に、「第11回親子で大谷崩の森づくり」が大谷崩(おおやくずれ：静岡市)で開催されました。

当日は、約60名の親子が参加され、大谷崩の山腹に現地の自生種であるヤシャブシやヤマハンノキの苗木を植樹しました。

大谷崩は、鳶山崩れ(とんびやまくずれ：富山県)と稗田山崩れ(ひえだやまくずれ：長野県)とともに日本三大崩れの一つに数えられる安倍川上流の大崩壊地で、国土交通省静岡河川事務所により床固工や山腹工等の直轄砂防事業が進められています。



植樹作業の状況



ドローンによる集合写真

「SABOスキルアップセミナーin由比」が開催される

5月21日(月)と5月28日(月)に、「SABOスキルアップセミナーin由比」が由比地区(静岡市清水区)の直轄地すべり対策工事の現場で開催されました。

国土交通省と県、静岡市の職員約30名が参加し、掘削中の深礎杭の内部地下30mのすべり面を観察するとともに、杉本富士砂防事務所長による当地区の地質とすべり面についての説明がありました。

また、国土交通省が推進するi-Constructionに基づいたICT活用工事での、3次元データを用いた出来形管理の説明があり、最新の技術を学ぶ大変有意義な研修となりました。



深礎杭工事の説明



地質とすべり面の説明

環富士山火山防災連絡会総会が開催される

5月31日(木)に、富士山周辺の静岡県・山梨県の16の市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が、プラサヴェルデ(沼津市)で開催されました。

総会では、平成29年度事業報告、富士山火山防災対策協議会との連携や国・県に対する要望活動などの平成30年度事業計画が承認されるとともに、役員の交代があり、会長に沼津市長、副会長に富士河口湖町長が選出されました。

その後、山梨県富士山科学研究所の池谷客員研究員による「集客施設の避難対策 - 突発的な噴火災害を防ぐために -」の演題で研修会が行われました。



総会の様子

国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せを開催

6月1日(金)に、「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ」を、静岡県庁で開催しました。合同打合せは、県内の直轄砂防事務所である静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所と県砂防課が、本年度の事業計画や取組み、連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に開催しています。

今回の合同打合せでは、富士砂防事務所から、本年度から着手する富士山火山噴火対策について説明がありました。



打合せの様子

平成30年度(第36回)土砂災害防止「全国の集い」in徳島が開催される

6月6日(水)～7日(木)に、平成30年度(第36回)土砂災害防止「全国の集い」が徳島県徳島市で開催されました。

今大会は、『土砂災害を迎え撃ち、助かる命を必ず助けるために！～過疎化・高齢化を見据え「土砂災害対策」を考える～』をテーマに、特別講演やパネルディスカッションが行われました。各都道府県によるポスターセッションでは、急傾斜事業にあわせ津波避難地を造成している「上田町(湖西市)の特定利用斜面保全事業」について紹介しました。

2日目の現地研修会では、「砂防の父」赤木正雄博士が整備に携わった「曾江谷川床固工」やオランダ技術者ヨハニス・デレイケの調査を基に明治20年頃に造られた「大谷川砂防堰堤」について概要説明が行われました。



大谷川砂防堰堤

市町等砂防担当職員研修を開催

6月15日(金)に、市町等の砂防・防災担当職員を対象にした土砂災害警戒情報システムの操作や防災気象情報に関する実践的な研修を、県庁東館のOA研修室で開催しました。

研修には、22市町の担当職員28人が出席し、静岡地方気象台土砂災害気象官から「静岡県の気象と防災気象情報」について説明していただき、砂防課から県のホームページで公開している「土砂災害警戒情報補足情報システム」の操作や危険度の判定手法などについて説明しました。

本格的な雨季に入り土砂災害が発生しやすくなることから、出席者からは、「本システムの操作方法を理解でき、今後の業務に役立てたい」「降雨時等の情報収集に活用する」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。



静岡地方気象台土砂災害気象官の説明



「土砂災害警戒情報補足情報システム」の活用演習

【平成30年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただきありがとうございます。



募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】 小学生・中学生 【応募期間】 6月1日(金)～9月15日(土)

【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。

【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL 054-221-3044 FAX 054-221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



ジオフォーラム 2018 IN 静岡

【日 時】 平成30年10月5日(金) 10:00～17:00

【会 場】 しずぎんホール ユーフォニア

※全国治水砂防協会静岡県支部が協賛しています。

参加
無料



8月23日(木)～25日(土) 市町長等砂防事業県外視察(和歌山県・三重県)

9月 1日(金) 防災の日

10月 下旬 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(岐阜県内)

11月20日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)

11月20日(火) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)

11月 下旬 市町等砂防担当職員研修会



【表紙写真】

雨上がる (撮影地:富士宮市黒田)

児玉 達雄さん(静岡県静岡市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

毎年行われている「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル～」が6月16日(土)に静岡市青葉シンボルロードにて開催されました。当日のお天気が心配されていましたが、多くの方に御来場していただきました。クイズに参加していただいた方には、土砂災害啓発用グッズを配布し、小さなお子様には、塗り絵等のスペースで楽しんでいただきました。

土砂災害を防ぐ取り組みについて、わかりやすい広報に努めますので、今後とも「砂防だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお祈りします。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第196号 発行日：平成30年7月15日

編集・発行：全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sabo@pref.shizuoka.lg.jp